

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.8
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 騒音								
1.2 遮音								
1 開口部遮音性能								
2 界壁遮音性能								
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音								
2 温熱環境								
2.1 室温制御								
1 室温								
2 外皮性能								
3 ゾーン別制御性								
2.2 湿度制御								
2.3 空調方式								
3 光・視環境								
3.1 昼光利用								
1 昼光率								
2 方位別開口								
3 昼光利用設備								
3.2 グレア対策								
1 昼光制御								
3.3 照度								
3.4 照明制御								
4 空気質環境								
4.1 発生源対策								
1 化学汚染物質								
4.2 換気								
1 換気量								
2 自然換気性能								
3 取り入れ外気への配慮								
4.3 運用管理								
1 CO ₂ の監視								
2 喫煙の制御								
Q2 サービス性能								
1 機能性								
1.1 機能性・使いやすさ								
1 広さ・収納性								
2 高度情報通信設備対応								
3 バリアフリー計画								
1.2 心理性・快適性								
1 広さ感・景観								
2 リフレッシュスペース								
3 内装計画								
1.3 維持管理								
1 維持管理に配慮した設計								
2 維持管理用機能の確保								
2 耐用性・信頼性								
2.1 耐震・免震								
1 耐震性								
2 免震・制振性能								
2.2 部品・部材の耐用年数								
1 躯体材料の耐用年数								
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔								
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔								
4 空調換気ダクトの更新必要間隔								
5 空調・給排水配管の更新必要間隔								
6 主要設備機器の更新必要間隔								

外壁:カラーガルバニウム鋼板 補修必要間隔 30年
 評価対象室:整備作業エリア
 床:合成樹脂厚膜型塗床 更新必要間隔:20年
 壁・天井:外装表しのため、仕上材無し
 給水管:塩ビライニング鋼管(判断基準:B)
 排水管:耐火二層管(判断基準:B)

2.4 信頼性			2.4	0.20			
1	空調・換気設備		3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備		2.0	0.20			
3	電気設備		1.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5	通信・情報設備		3.0	0.20			
3 対応性・更新性			4.2	0.50			4.2
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30			
1	階高のゆとり	階高は3.9m以上である。	5.0	0.60			
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率は0.1以下である。	5.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり		整備場 設定積載荷重 スラブ用:15900N/m ² 柱・大梁・基礎:8000N/m ² 地震用:4000N/m ²	5.0	0.30			
3.3 設備の更新性			3.2	0.40			
1	空調配管の更新性		3.0	0.20			
2	給排水管の更新性		3.0	0.20			
3	電気配線の更新性		3.0	0.10			
4	通信配線の更新性		3.0	0.10			
5	設備機器の更新性		3.0	0.20			
6	バックアップスペースの確保	屋内キュービクル用のバックアップスペースを確保している。	4.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.57			2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30			1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30			2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-			3.6
LR1 エネルギー			-	0.40			4.0
1 建物外皮の熱負荷抑制			4.0	0.01			4.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.12			3.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 - 住宅(専有部) -	5.0	0.62			5.0
	集合住宅以外の評価(3a.3b)	高効率な設備機器を採用している。	5.0	1.00			
	集合住宅の評価(3c)		-	-			
4 効率的運用			2.0	0.25			2.0
	集合住宅以外の評価		2.0	1.00			
4.1	モニタリング		3.0	0.50			
4.2	運用管理体制		1.0	0.50			
	集合住宅の評価		-	-			
4.1	モニタリング		-	-			
4.2	運用管理体制		-	-			
LR2 資源・マテリアル			-	0.30			3.3
1 水資源保護			3.8	0.20			3.8
1.1	節水		3.0	0.40			
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		4.4	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無	生活用水はすべて井水を使用している。	5.0	0.70			
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30			
2 非再生性資源の使用量削減			2.7	0.60			2.7
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.11			
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22			
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.22			
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げが容易に分別可能(躯体+塗装仕上げ)となっている。	4.0	0.22			
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.4	0.20			4.4
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30			
3.2	フロン・ハロンの回避		5.0	0.70			
1	消火剤		-	-			
2	発泡剤(断熱材等)	発泡剤を用いた断熱材を使用していない。	5.0	1.00			
3	冷媒		-	-			
LR3 敷地外環境			-	0.30			3.4
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出率:71%。	4.1	0.33			4.1
2 地域環境への配慮			3.2	0.33			3.2
2.1	大気汚染防止	燃焼機器の設置をしていない。	5.0	0.25			
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50			
2.3	地域インフラへの負荷抑制		2.0	0.25			
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25			
3	交通負荷抑制		1.0	0.25			
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25			
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33			3.1
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40			
1	騒音		3.0	1.00			
2	振動		-	-			
3	悪臭		-	-			
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	砂塵の抑制		-	-			
3	日照障害の抑制		3.0	0.30			
3.3	光害の抑制		3.7	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	周囲への漏れ光に配慮した屋外照明計画。	4.0	0.70			
2	壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			